

# 自己評価結果報告書

令和 8年 2月27日

大分県障害福祉課長 様

所在地 大分県大分市大津町2丁目1番41号  
法人名 社会福祉法人 大分県社会福祉事業団  
代表者 職・氏名 理事長 銅城 義則

## 1. 事業所の状況

事業所の名称	地域総合支援センター どんぐり河内	
事業の種別	放課後等デイサービス	
事業所番号	4450900065	
指定年月日	2019/4/1	
連絡先	担当者名	坂本 久美子
	TEL	0978-25-6626
	E-mail	<a href="mailto:donguri-k@gaea.ocn.ne.jp">donguri-k@gaea.ocn.ne.jp</a>

## 2. 取組時期

①保護者による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月 26日
②職員による評価	令和 8年 1月 9日 ~ 令和 8年 1月 26日
③事業所全体による評価	令和 8年 2月 18日

## 3. 公表結果

公表日	令和 8年 2月 27日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL : <a href="http://www.oitaswo.jp">http://www.oitaswo.jp</a>
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域総合支援センター どんぐり河内（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18家族	(回答者数) 12家族
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い園庭や遊戯室があり、心身の発達や体力の強化に活かすことができる。 陸上活動に取り組み、各種陸上大会に出場し、達成感や自己肯定感へとつなげることができる。 絵画を作品展に出展し、作品を広く周知する機会を提供するとともに、制作意欲の向上につなげることができる。	感覚統合遊具やアスレチックを整備し、必要な刺激を統制しながら、体幹トレーニングにも取り組んでいる。 陸上大会では、県内の事業所等を利用する児童とともに、陸上競技場で走る貴重な体験を提供することができる。	研修に積極的に参加し、様々なアプローチを習得することで、個別療育の充実を図っていききたい。
2	充実した活動と個別支援を提供することができる。 畑で野菜を栽培し、調理実習を行うことで、食育につなげることができる。	必要に応じて、法人内のセラピスト（PT、OT、ST）に助言を受け、個別支援に取り入れている。 野菜を栽培することで、作物を育てることの大変さや喜びを体験し、食べることへの関心と感謝の気持ちを育んでいる。また、おやつ作りや調理実習をとおして、自立に向けた力の育成に取り組んでいる。	多職種協働の支援を充実させるためのネットワークづくりを検討していききたい。
3	地域資源を活用した活動や様々な行事を企画し、多様な体験を提供することができる。	外出して地域資源を利用する活動や季節に応じた行事、バーベキューや果物狩りなど、子どもも大人もともに楽しめる活動を実施している。 地域が主催する『小さなおはなし会』に参加し、地域の子どもや住民と交流を図っている。	地域との交流を大切にし、地域の方の協力を得ながら、行事や防災活動などを計画していききたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）と連携して支援を行う体制が十分にできていない。	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）とのネットワークが構築されていない。	自立支援協議会や個別の会議を通して、顔の見える関係性を築いていく必要がある。
2	HPやSNS等を活用し、情報を子どもや保護者に対して発信することが十分にできていない。	情報発信に対して、十分な時間とスキルを確保することができていない。	行事や活動の様子について、積極的に情報発信を行っていく必要がある。
3	保護者やきょうだい同士で交流する機会が十分ではない。	年に1回、保護者懇談会を実施しているが、参加が難しい保護者がいる。	保護者懇談会の実施時期、保護者同士で交流できるような内容を検討していく。 保護者やきょうだい参加できる行事について検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	地域総合支援センター どんぐり河内（放課後等デイサービス）
------	-------------------------------

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 18名

回収数 12名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	1		利用定員に対し、テイルームや遊戯室など十分なスペースを確保しています。園庭も広く、充実した外活動を行うことができます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2	0	2		配置数については、国の基準以上の人数を配置しています。また、資格（介護福祉士、社会福祉士、ペアレントメンター等）を有する職員が在籍しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	2		視覚的な支援を取り入れ、個々の特性に応じた配慮がされています。スロープが設置され、車椅子でも対応可能になっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1	0	1	いつもきれいで、シンプルですごいと思いました。	感染症対策を行い、安心かつ安全に過ごせる環境設定に配慮しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	1		支援プログラムに沿って、5領域の中から活動を提供しています。活動の取組について、丁寧な説明を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	1		放課後等デイサービスガイドラインに沿って、放課後等デイサービス計画を作成しています。具体的な支援内容について、丁寧な説明を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	1		活動内容を決める際は、職員同士で様々なアイデアを出して検討しています。法人内の他事業所とも活動内容の共有を図っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	2	5		地域の『小さなおはなし会』に児童クラブや保育園の児童と一緒に参加しています。また、当事業所の行事に地域の児童クラブを招待しましたが、今年度は感染症の流行のため、直前でキャンセルになりました。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	2	0	0		契約時に説明をさせていただいています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	0	0		放課後等デイサービス計画の交付時に説明をさせていただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	0	1		年に2回、ペアレントプログラムを実施しています。保護者に文書にて案内をしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0	学校の先生よりも、本人の性格や特性を理解してくれているので、相談しやすく、とても心強いです。いつもありがとうございます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	0	0		個別の相談については、電話や連絡帳等で対応させていただいています。必要に応じて会議の中で発言させていただくこともあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	0	3	交流会の時は本人だけでなく、姉兄とも楽しみにしています。どんぐり広場が楽しかったです。	父母の会やきょうだい向けのイベントはありませんが、保護者懇談会を通じて保護者同士の交流が図れるよう工夫しています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2	0	1		相談や申入れがあった際は、迅速な対応を心がけていますが、ご意見をありがたく受けとめ、サービス向上に努めていきたいと思っています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	4		行事予定等は毎月のお知らせ文書にて配布しています。法人ホームページに行事の記事を掲載し、広報に努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1	0	0		個人情報の取扱いについて細心の注意を払っています。適時、全職員で振り返りを行っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	2		安全計画概要版を保護者に配布し、周知を回っています。各種訓練については、法人内のマニュアルに沿って定期的の実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	2		安全計画概要版を保護者に配布し、周知を回っています。障害特性に応じて、安心かつ安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	2		事故等が発生した際に、事業所から速やかな連絡を行うことができるよう緊急連絡先の整備を行い、有事に備えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	先生方やお友達のことを大好きで、いつも楽しそうです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	2	0	0	通所を嫌がることなど全くなくこちらも助かっています。	幅広い年齢層、様々な障害特性のある児童がご利用されている場ではありますが、笑顔で楽しく過ごせる事業所を目指して努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	いつも手厚く親切に対応していただき、本当にありがとうございます。いろいろな行事がありがたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域総合支援センターどんぐり河内（放課後等デイサービス）				公表日	令和8年 2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用定員に対し、デイルームや遊戯室など十分なスペースを確保している。園庭も広く、充実した外活動を行うことができている。	環境は恵まれており、今後も活用を促進していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	国の基準に沿った職員配置がなされている。サービス提供時間内に個別支援を提供することができている。	職員間の連携や支援の工夫を検証し、最善なサービス提供につなげていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚的な支援を取り入れ、個々の特性に応じた配慮がされている。スロープが設置され、車椅子でも対応可能になっている。	雨天の場合は、送迎車に乗る際に滞る可能性があるため、配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	基本的にはシンプルな空間に設定されており、特性に沿った落ち着いた環境にしている。感染症対策のため、毎日消毒を行っている。	手洗い場やトイレ等が規定のサイズになっているため、個々の体格に応じて台の設置等で対応している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	用途に応じて、個別訓練室、遊戯室、カームダウン室を使用することができる環境になっている。	個別訓練室や遊戯室の使用希望が重なった際は、調整をしながら、意向に沿えるよう工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎月の事業会議及び各事業所でのミーティングを行っている。毎月目標を設定し、振り返りを行っている。	全ての職員が参画できるよう工夫しているが、勤務時間により参加できない場合は、文書等により引継ぎを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向け評価表からの意見や保護者等の意向を受けて、業務改善につなげている。	保護者の意向等を把握する機会を増やすことで、サービスの向上を目指していきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日ミーティングを行い、職員の意見等を把握している。ヒヤリハット事例は、改善策を検討し、早急に対応している。	業務改善が継続して実践できているか適時の確認が必要である。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者による外部評価を受けており、評価結果を業務改善につなげている。	今後も積極的に第三者による外部評価を受け、業務改善を図っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	障害特性の理解、虐待防止、身体拘束、人権研修、感染症対策などの研修を行っている。	全職員が一斉に研修を受けることが難しく、一部の職員が視覚になることがあるが、確実に研修を受けられる体制を整えている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムを作成し、ホームページや事業所玄関にて公表している。	支援プログラムの公表について、保護者に向けた周知を図っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	放課後等デイサービス計画は、児童や保護者の意向を確認し、日々の支援の中で感じるニーズや課題に沿って作成している。	児童の意向について、聞き取りが困難な場合があるが、意思決定支援に基づき、取り組みを強化していきたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画は、支援に従事する保育士や児童指導員からの情報を共有し、意見交換した上で作成している。	児童の発達段階に応じた必要な支援を基に放課後等デイサービス計画の検討を行っているが、児童の最善の利益についても意識を高めていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画の写しを配布し、職員間で共有している。計画に沿った支援を実施し、記録に残している。	放課後等デイサービス計画の共有と実践について、適時確認し、必要に応じて計画の見直しにつなげていきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	活動の様子や特記事項は記録を行い、アセスメントに活かしている。	事業所独自のアセスメントシートを使用しているが、個別の課題に対応したアセスメントツールについて、導入の検討が必要である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	放課後等デイサービス計画は、国の基準に沿った項目を設定しており、具体的な支援内容を記載して作成している。	放課後等デイサービス計画の作成について、スーパーバイズを受けながら、精度を上げていく必要がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員間でアイデアを出し合いながら、ご利用される児童に即した活動プログラムになるよう立案している。	活動の充実に向けて、他事業所や専門職から幅広く情報収集を行っていきたい。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	個別のニーズや発達段階に応じて、活動プログラムを組み立てており、内容が固定化しないよう工夫している。	アセスメント力を強化し、より個別のニーズや発達段階に即した活動プログラムを設定することができるよう研鑽に努めていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画の中で、個別のニーズや課題に対する支援として、個別活動と集団活動を組み合わせた内容を取り入れ、療育の中で実践している。	限られた時間内で個別活動と集団活動をより充実させていくことが課題である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	送迎手順や活動内容、児童の特記事項等を確認し、チームで連携して支援を行っている。	情報共有の徹底を図り、チームでミスを防ぐ意識を高め、児童や保護者の満足度向上につなげていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後にミーティングを行い、振り返りや業務改善について話し合っている。	全職員が意見を出し合い、同じ方向性を共有することができるよう働きかけを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	活動の様子や特記事項は記録を行い、支援の検証・改善につなげている。	記録に関して、要点を明瞭・簡潔に文書化する技術の習得が求められる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	国の基準に沿って、定期的に放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。	障害児相談支援事業所主催のモニタリング会議の定期的な開催に向けて、働きかけが必要である。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0	基本活動を複数組み合わせる支援を行っている。	日常の支援の中で「4つの基本活動」をより意識できるよう働きかけを行っている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	おやつ購入や図書館での本の貸し借り等、それぞれの児童が好きなものを選ぶ機会を設け、自己決定する力を育てる支援を行っている。	今後も、自己選択や自己決定をする機会を提供することで、意思決定支援の充実を図っていきたい。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者が参加し、都合がつく場合は保育士も同席している。	今後も積極的に関係機関との会議へ参画を行ってきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携を図り、支援を行っている。	地域の保健、医療との連携は十分ではなく、地域のネットワーク作りが必要と考えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校からいただく月間予定表や週間予定表、電話連絡にて、送迎時の対応やトラブル発生時における連携を図っている。	今後も、学校との情報共有できる関係性を維持できるよう努めていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が利用前の担当者会議に出席し、保育所等と情報共有を行っている。	就学前の時期に保育所や認定こども園等で過ごされている様子を実際に見学することで、よりスムーズな移行が進められると思われる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	相談支援事業所と連携して行っている。	障害福祉サービス事業所と放課後等デイサービス事業所が顔の見える関係性を築いていくことが必要だと思われる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	北部圏域児童発達支援協議会主催による研修会に参加している。	スーパーバイズや研修を受ける機会の拡大に努めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	地域の『小さなおはなし会』に児童クラブや保育園の児童と一緒に参加している。また、当事業所の行事に地域の児童クラブを招待したが、今年度は感染症の流行のため、直前でキャンセルになった。	放課後児童クラブとの交流が継続的に実施できるよう努めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加し、地域福祉の現状や課題について情報共有を行っている。	地域福祉の課題解決に向けて、自立支援協議会のあり方等も含めて、積極的な関わりを行っていく必要を感じている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	連絡帳に活動内容や特記事項を記載し、保護者と共有している。送迎時や懇談会にて、個別の状況や課題について話し合っている。	保護者との連携を強化し、共通理解を深めていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	年に2回、ペアレントプログラムを実施し、保護者に文書にて案内を行っている。	ペアレントプログラムの案内に体験者の声を取り入れ、保護者の参加を促していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に運営規程、利用者負担等について説明を行っている。運営規程に変更が生じた際は、お知らせ文書にて周知している。	保護者へお知らせ文書を配布しているが、質疑について確認する機会の設定を検討していく。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	放課後等デイサービスを作成する際には、保護者の意向を確認している。児童には、利用している時に頑張りたいことを聞き取っている。	コミュニケーションに困りがある児童への聞き取りにスキルが求められる。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	放課後等デイサービス計画書を示しながら、説明を行い、同意を得ている。	送迎時に保護者に面談で説明を行い、同意を得ている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者から相談があった場合、面談や助言等を行っている。	必要に応じて面談や助言等を行っており、定期的な機会が設けられていない。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	保護者懇談会を実施し、保護者同士で交流する機会を設定している。きょうだい児が参加できる行事は企画していない。	きょうだい児が参加できるような行事の企画を検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	公用携帯電話にて適時対応を行っている。相談や申入れがあった場合は、日程を調整して対応している。	苦情に対し、誠意ある対応を心がけ、サービス向上につなげていきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の行事予定表をお知らせ文書とともに配布している。また、行事等の様子を法人HPに掲載している。	HPの活用を充実させ、情報発信の強化に努めていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報に関する書類は、個別の連絡帳に入れて配布している。ケースファイルは施錠できる文書棚に保管している。	個人情報の取扱いには十分に配慮しているが、人為的ミスが発生したケースがあるため、ダブルチェックする体制を整えている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	連絡をする時間や内容を考慮し、適した手段を用いるよう配慮を行っている。	適切な配慮ができていたか、振り返りを行い、安心感のあるサービス提供に向けて、改善を図っていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	バーベキューを行った際、地域住民を招待した。また、地域の方から寄付物品を受け取り、交流を図っている。	地域住民との交流を大切にし、今後も継続していくことができるよう努めていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを策定し、ファイルを事務室や玄関に常設している。また、計画に沿って訓練を実施している。	保護者へ各マニュアルの内容について周知ができるよう検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に研修や訓練を行っている。	有事の際に業務継続計画（BCP）を適切に運用することができるよう、平時から意識を高めていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に服薬やてんかん発作等について確認をしている。てんかん発作時の対応については、個別のマニュアルを作成している。	適時、服薬や予防接種、てんかん発作等の状況について確認をし、最新の情報の収集に努めていきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーのある児童について、提供するおやつや調理実習の内容について、その都度保護者に確認をしている。	食物アレルギーについて、保護者と情報共有を行いながら、安心してご利用できる事業所を目指していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、必要な研修や訓練を実施している。安全点検表を用いて、施設内外の安全管理を行っている。	安全計画の内容の理解が深まるよう工夫していきたい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	策定した安全計画を保護者に配布し、周知を図っている。また、緊急連絡先の整備を行っている。	保護者にお知らせ文書を配布しているが、内容の質疑について確認する機会の設定を検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの防止策をチーム内で検証し、共有している。防止策が継続して実施されているか、振り返りを行っている。	日常にあるヒヤリハットの文書化に向けて、改善を図ってきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会を設置し、少なくとも3か月1回以上開催し、ケースの周知や今後の対応について協議している。虐待防止研修を実施するとともに、虐待チェックリストに基づき、支援の振り返りを行っている。	職員間でコミュニケーションを図りながら、チーム支援を行い、不適切な支援につながらない環境設定を行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束適正委員会を設置し、少なくとも3か月に1回以上開催し、身体拘束の状況や今後の対応について協議検討している。身体拘束を行う場合は、委員会の中で協議した上で決定している。放課後等デイサービス計画に記載し、保護者の同意を得た上で、支援内容を記録に残すようにしている。	身体拘束について、研修をとおして、理解を深めていきたい。	